

2023 年度 環境経営レポート

〈第11版〉

(対象期間: 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



株式会社 藤森組

外構工事・エクステリア工事・宅地造成・土木工事



作成日: 2024年5月24日

目 次

項 目
環境経営方針
組織の概要
認証・登録の対象組織・活動
環境活動組織図及び役割・責任・権限表
環境目標及びその実績
環境経営活動目標及びその実績
環境経営活動計画の取組結果とその評価
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無
緊急事態対応訓練
代表者による全体の評価と見直し・指示



環境経営方針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想させる地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、建設業の事業活動における環境負荷の低減を図るために、社会一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます

- 1 . 電力・車両燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 2 . 産業廃棄物の削減に努めます
- 3 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 4 . 環境に配慮した建築工法の推進に努めます
- 5 . 工事現場周辺の清掃活動に努めます。



2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します



制定日：2014年1月1日

改定日：2020年4月1日

株式会社 藤森組

代表取締役社長 藤森 賢

□組織の概要

更新日：2024年5月24日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 藤森組
代表取締役社長 藤森 賢
- (2) 所在地
本 社 長野県松本市取出442番地1
倉庫 長野県松本市取出498
資材倉庫 長野県松本市取出458番地3
残土置場 長野県松本市取出706
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 専務取締役 児玉 進一 TEL：0263-64-2056
担当者 専務取締役 児玉 進一 TEL：0263-64-2056
- (4) 事業内容
総合建設業：土木工事、とび・土工、石工事、舗装工事、水道施設工事
建設工事、管工事、造園、解体工事
- (5) 事業の規模
売上高 1,916 万円
従業員 19 名
延べ床面積 1,729 m²

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 藤森組
対象事業所：本 社
倉庫
資材倉庫
残土置場

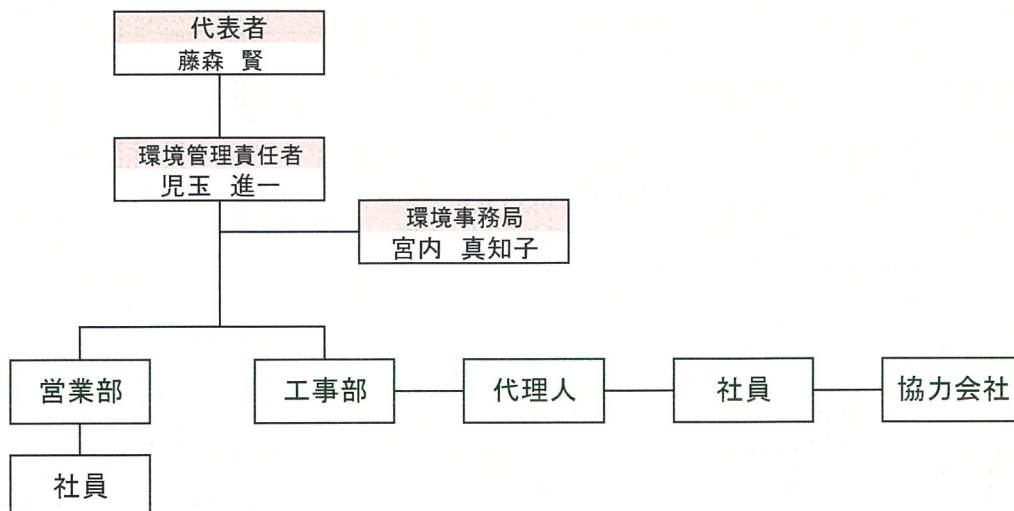
活動：総合建設業：土木工事、とび・土工、石工事、舗装工事、水道施設工事



着 工 前

竣 工

令和5年度 5災公共土木施設災害復旧工事
(一) 保福寺川 松本市 保福寺橋下



責任及び権限

・代表取締役

- ① EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
- ② EA21の実施及び管理に必要な資源を用意する。資源には、
- ③ 環境管理責任者を任命する。
- ④ 環境方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。
- ⑤ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。

・環境管理責任者

- ① EA21を構築し、実施し、管理する。
- ② 環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し、承認する。
- ③ 法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。
- ④ 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し承認する。
- ⑤ 環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。
- ⑥ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
- ⑦ 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。

・各部門長

- ① 自部門におけるEA21の実施。
- ② 自部門における環境方針の周知。
- ③ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。
- ④ 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。
- ⑤ 特定された項目の手順書作成及び運用管理。
- ⑥ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録。
- ⑦ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。

・代理人

- ① 工事現場におけるEA21の実施
- ② 工事現場に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。
- ③ 工事現場における環境負荷低減活動の実施及び緊急事態対応

・環境事務局

- ① 環境管理責任者の事務局。
- ② 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。
- ③ 「環境関連法規等の取りまとめ／遵守チェック表」原案の作成。
- ④ 環境目標原案の作成。
- ⑤ 環境活動計画原案作成。
- ⑥ 環境活動実績集計。
- ⑦ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。

・社員

- ① 環境方針への理解と、環境への取組の重要性を認識し実践する。
- ② 環境活動への意見または改善点を見つけた場合は提案・報告をする。
- ③ 自主的・積極的に環境活動へ参加する。

□環境活動目標及びその実績

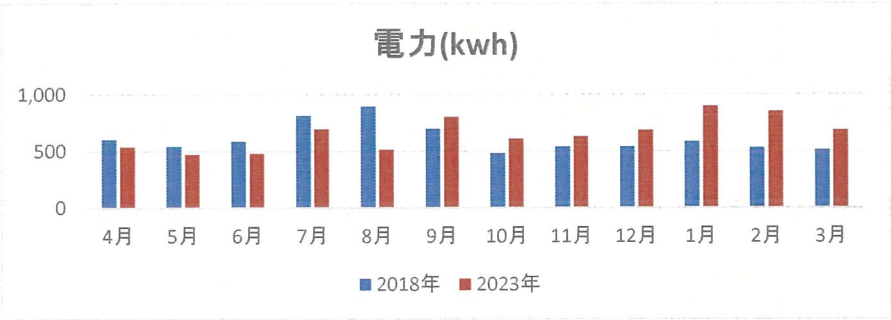
年 度 項 目		基準値	2023年			評 価	2024年	2025年
			上段：通期	下段：3月末まで				
		(基準年)	(目標)	(実績)			(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 ※ l	kg-CO2	4,066	3,985	4,021	×		3,985	3,944
	kwh	7,287	7,141	7,820	×		7,068	6,996
	基準年度比	2018年	98%	99%			98%	97%
自働車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	93,205	91,341	114,820	×		90,409	89,477
	ℓ	37,300	36,554	45,810	×		36,181	35,808
	基準年度比	2018年	98%	123%			97%	96%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	4,737	4,642	6,874	×		4,595	4,548
	ℓ	1,901	1,863	2,761	○		1,806	1,711
	基準年度比	2018年	98%	145%			97%	96%
L P Gによる二酸化炭素削減	kg-CO2	122	120	66			55	54
	kg	56.3	55.1	30.6	○		54	53
	基準年度比	2018年	98%	54%			96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	102,008	99,968	125,781			98,989	97,969
一般廃棄物の削減	kg	1,188	1,105	975	○		1,069	1,057
	基準年度比	2018年	93%	82%			90%	89%
産業廃棄物の削減	t	686	617	539	○		549	480
	基準年度比	2018年	90%	79%			80%	70%
水道水の削減	m ³	86	82	83	○		81	79
	基準年度比	2018年	95%	97%			94%	90%
工事現場での環境配慮	件	2	2	5	○		2	2

※1 (株)エフエネ0.514Kg-co2/kwh 令和5年12月22日 環境省・経済産業省HP発表

口環境活動計画の取組結果とその評価

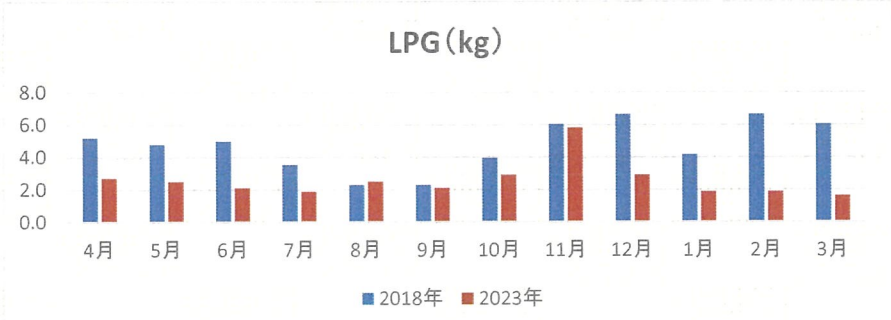
数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	前年度と同じく猛暑が続き、エアコンの使用は増加しました。冬場は燃料と電気代も高騰しっぱなしの社会の為、節約して電気ストーブを使用するよに心がけました。1月の後半から事務所を増設したため電気料が増加致しました。今後も節約意識を常に持ってもらい努力していきたいと思います。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・室内不在時・昼休み時等の不要照明の消灯	○	



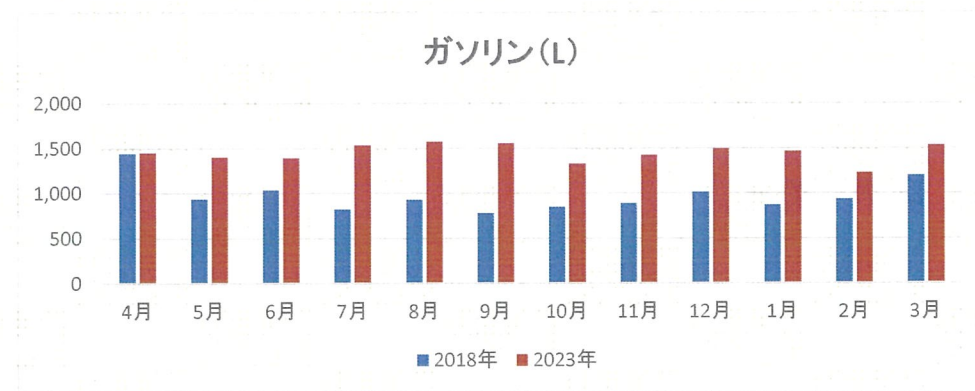
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	600	539	585	809	893	694	478	536	537	580	528	508
2023年	535	467	477	691	511	799	605	626	683	894	850	682

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	給湯器(小さい温度設定にする)、ガス機器(強火ではなく中火にすることを心がける)の適正な使用に心がけましたおかげで削減できたと思う。給湯器の使用を極力控え、努力を続けていきたいと思います。
・給湯器、ガス器具の適正な使用	○	

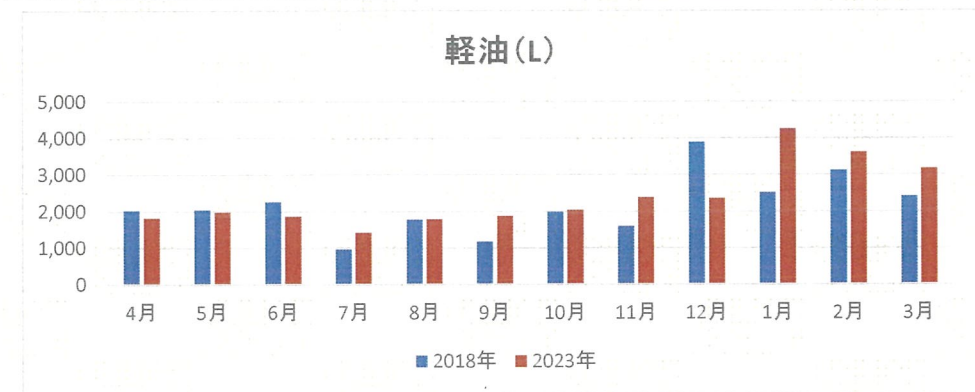


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	5.2	4.8	5.0	3.5	2.3	2.3	3.9	6.0	6.6	4.1	6.6	6.0
2023年	2.7	2.5	2.1	1.9	2.5	2.1	2.9	5.8	2.9	1.9	1.9	1.6

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	昨年同様災害現場での施工箇所が多いため燃料の削減はできませんでした。今後も効率的なルートで現場に行くなどの工夫をしていきたいと思います。
・アイドリングストップ	×	
・急発進・急停車を控えるよう心掛ける	○	

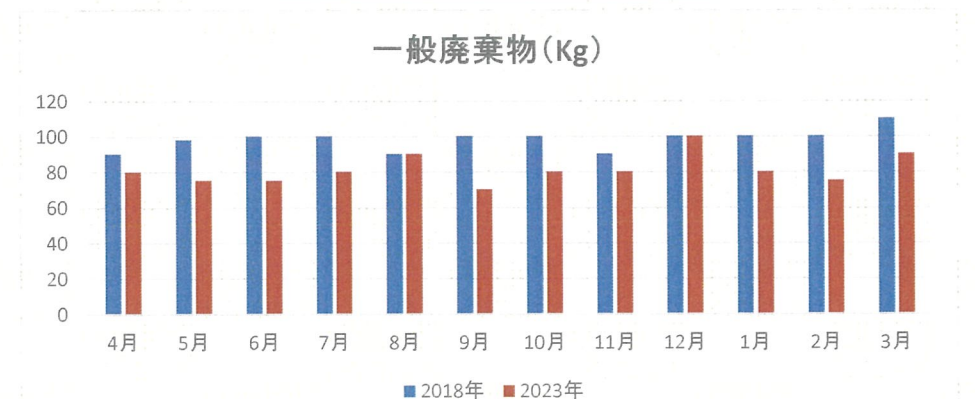


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	1,439	932	1,033	819	925	778	844	884	1,006	865	929	1,191
2023年	1,449	1,398	1,389	1,530	1,571	1,551	1,323	1,422	1,490	1,463	1,225	1,526



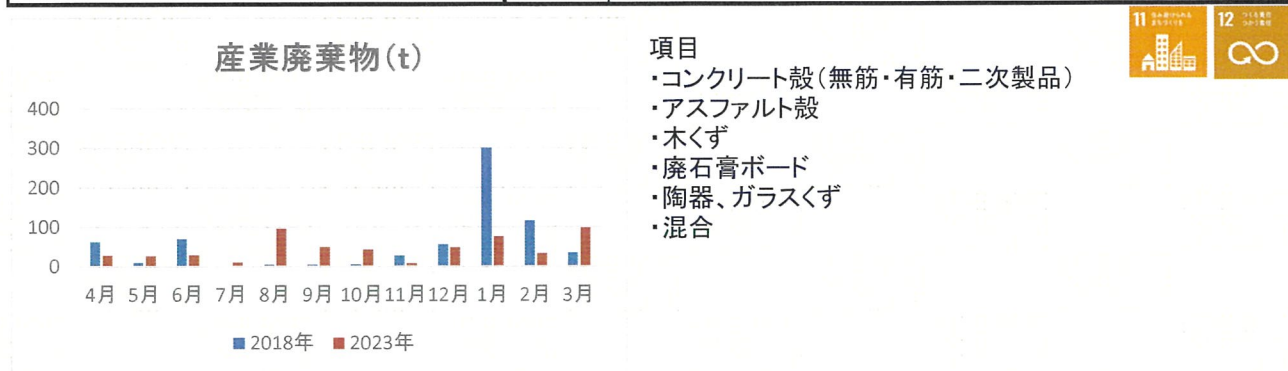
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	2,015	2,035	2,248	961	1,770	1,168	1,982	1,587	3,876	2,508	3,108	2,397
2023年	1,811	1,975	1,860	1,416	1,778	1,864	2,032	2,372	2,345	4,247	3,610	3,163

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	前年度同様に社内での印刷物は裏紙での印刷を心掛けました。書類作成等の事務所作業が増加したため数値目標は達成できませんでした。次年度は少しでも目標数値を下回れるよう努力したいと思います。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・簡易包装で頼む	○	



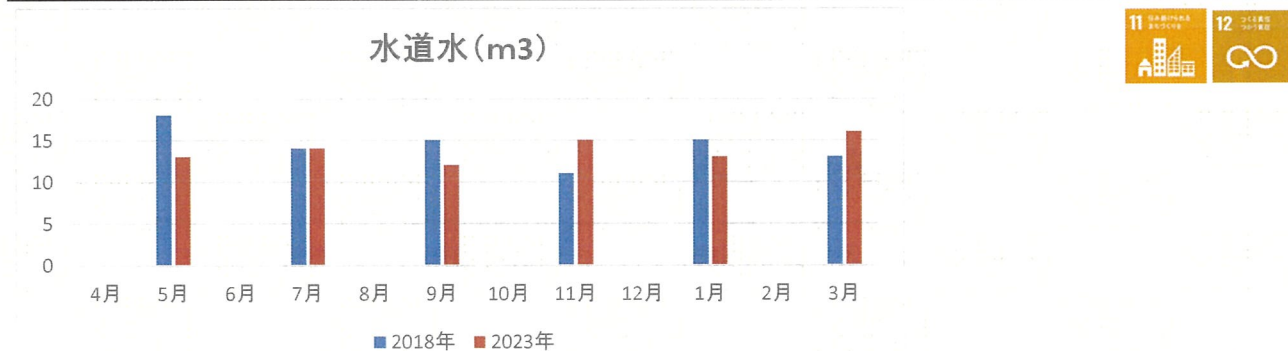
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	90	98	100	100	90	100	100	90	100	100	100	110
2023年	80	75	75	80	90	70	80	80	100	80	75	90

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	道路改良工事があり舗装ガラが大量に出たため昨年度より排出量が増えました。今後も分別を徹底していきたいと思ひます。
・廃棄物の分別徹底	○	
・マニフェスト管理徹底	○	
・再使用・再利用・倭約に心掛ける	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	62	9	69	2	4	4	5	27	55	299	116	34
2023年	28	26	29	10	95	49	42	7	48	76	32	97

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	使用量はほぼ横ばいだった。3月の水道使用量が上がったのは洗車の回数が増えた為と思われる。今後も水を大切に使用量を削減を目指す。
・節約シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・配管漏水の定期的点検	×	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年	0	18	0	14	0	15	0	11	0	15	0	13
2023年	0	13	0	14	0	12	0	15	0	13	0	16

工事現場での環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標(創意・工夫 目標 2件/実績 5件)	○	目標2件を達成出来ました。測量した回数は12回(5現場合計で)で杭ナビを活用しワンマン測量と作業時間短縮(バッテリー電力削減)が行えました。重機も環境配慮型を使用し環境に優しい施工を行えたと思ひます。次年度も各現場に見合った取組みを検討します。
・省エネ工事の施工	×	
・環境に優しい重機を積極的に使用	○	
・再生資源積極的利用(コブリス活用)	○	



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油類・有害物質の保管
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 油漏れ事故の発生	
■実施日： 2023/9/22	■実施場所 事務所前倉庫
■参加人数：3名	■実施内容： ・重機への給油時の油漏れ対応訓練
■評価： 小人数での訓練で、前回同様の対策セットでの講習となりました。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023/9/22	■実施場所 事務所前
■参加人数：3名	■実施内容： ・消火訓練
■評価： 昨年度は社内でコロナが流行してしまったため中止した消火訓練をいたしました。ポリタンクを火元と見立てて消火器での消火訓練をいたしました。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
 	

■定期見直し（事業年度終了後）

代表者	環境管理責任者
	

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取り組み状況の評価結果】 1.概ね目標値を達成している。 2.厳冬の為暖房用光熱費が増加した。 3.従業員数増加に伴い、自動車燃料が増加した。				【環境方針】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
				現在の方針を継続	
＜改善への提案＞ 当面は推移を見守る				【目標・活動計画】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無	
				現在の計画を継続	
【目標・環境活動計画の達成状況】 (詳細は環境活動計画書による)					
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)		
事務所電力の削減	×	○	厳冬による暖房費の増加		
事務所のガソリン削減	○	○	良好		
工事現場ガソリン削減	×	×	従業員数増加に伴う		
工事現場の軽油削減	×	×	従業員数増加に伴う		
事務所・現場灯油削減	×	×	厳冬による暖房費の増加		
一般廃棄物削減	○	○	活動の効果と判断		
産業廃棄物削減	○	○	活動の効果と判断		
水使用量削減	○	○	活動の効果と判断		
＜改善への提案＞ 冬場の暖房費削減				【その他】	
				変更の必要性： ☐ 有 ☐ 無	
【周囲の変化の状況】				【総括】(環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)	
＜改善への提案＞				従業員数増、厳冬による暖房費増により目標を越えた項目があった。	
				今後の推移を注視し、必要に応じた検討を行う	
代表者が自ら得た情報					
本年4月よりソーラー発電事業を開始					

保管：環境事務局